

# 今、何の病気が流行しているか！

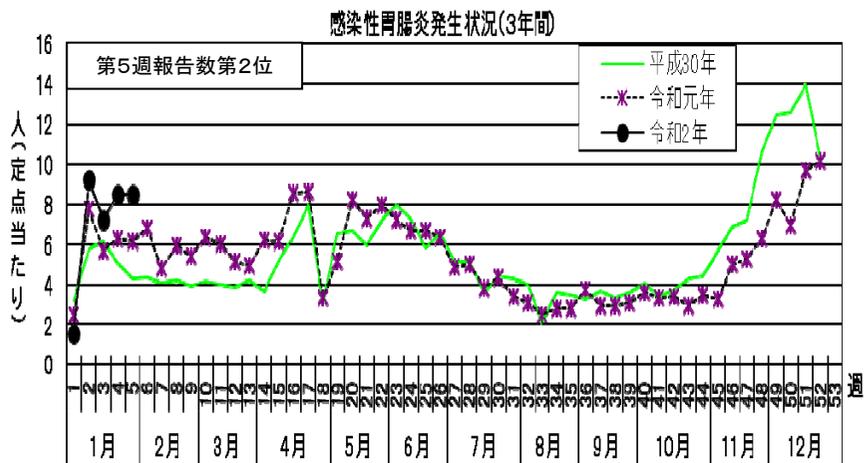
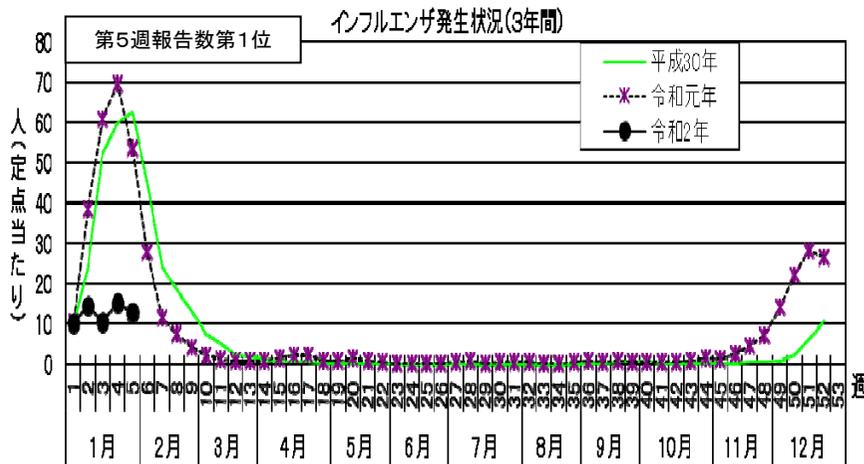
## 【感染症発生動向調査事業から】

令和2年1月27日（月）～令和2年2月2日（日）〔令和2年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.85人と前週（15.05人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.49人と前週（8.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.54人と前週（4.57人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



★風しんウイルス★  
ルペラくん



## 定期予防接種を忘れずに～2月4日は風しんの日～

風しんは、風しんウイルスを原因とする全身感染症で、発熱や発疹、リンパ節腫脹を主症状とします。症状は比較的軽いものの、妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、白内障や先天性心疾患、難聴などの症状を呈する先天性風しん症候群（CRS）の児が生まれる可能性があります。

昨年は全国で2,306件、川崎市でも56件の風しんの報告があり、成人男性を対象とする風しんの第5期の定期予防接種が開始されました。風しんに限らず、ウイルス性感染症の多くは発熱を引き起こしますが、ワクチンで予防可能な疾患もあります。定期予防接種は是非忘れずに受けましょう。

### 発熱をきたす代表的なウイルス性感染症と感染力

疾患名	主な感染経路	基本再生産数（ $R_0$ ）※1
麻疹	空気感染、飛沫感染	12～18
水痘	空気感染	8～10
風しん	飛沫感染	5～7
流行性耳下腺炎	飛沫感染	4～7
インフルエンザ※2	飛沫感染	2～3
新型コロナウイルス感染症	飛沫感染（接触感染？）	推定 1.4～2.5※3

※1：一人の患者が平均何人の人に感染させるかを表す数字

※2：1918年の世界的流行時

※3：世界保健機関（WHO）声明（2020年1月23日時点）

### 風しん（第5期）予防接種の概要

対象者：昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

実施期間：平成31年4月10日から令和4年3月31日まで

費用：無料

実施医療機関など詳細は、川崎市ホームページをご覧ください。

